

# ヒヤリハット報告

## ○西明石園

- ・体操の時間男の子二人がじゃれあっていて、倒れそうになった。  
→二人の距離を取って体操するように声を掛ける。
- ・1歳児の女の子が1歳児の男の子をひっかきそうになった。  
→2人の間に職員がついて、未然に防ぐ。

## ○明石伊川谷園

- ・おもちゃ箱のレール部分が割れていた。  
→消毒のたびにこまめに確認しておく
- ・2歳児が朝の受入れ時、抱っこから落ちそうになり危険。  
→子ども自身で気持ちを切り替えができるように待つ。家庭と連携し話し合う。

## ○西宮園

- ・0歳児が小さいレゴブロックを拾ってなめようとしていた。  
→レゴブロックで遊ぶときの約束を伝える。  
また、落ちたらすぐに拾うを徹底。0歳児のそばに付き、危険がないか常に気を配る。
- ・高熱の風邪が流行り、中々おさまらなかった。  
→消毒の徹底をこまめに行う。

## ○川西能勢口駅前園

- ・重ねている椅子の上に座る子が何人かいた。  
→椅子の置き場を見直す。繰り返し声掛けをする。
- ・ほし組さんがまだ言葉で言えないので手が出てしまう。  
→子供の気持ちを代弁し、相手に気持ちを伝えられるようにする。
- ・シール貼りをしていて0歳児がシールを口に入れてしまい取り出した。  
→安全に遊べるように側で見守ったり、声掛けをしていく

## ○西明石駅前園

- ・A君が、Bちゃんが遊んでいるところにやって来て、  
Bちゃんが遊んでいた玩具が気になり、勝手に取って行った。  
Bちゃんは怒って返してもらおうと追いかけたが、  
A君はBちゃんの手をつかんで噛もうとしていた。  
近くに保育者がいたので何もなかった。  
A君はまだ喋ることができない。  
1歳児は口や手が出る子供が多いので分かりやすい言葉ではいけない事を  
その都度伝えていくようにしたい。

## ○道場南口園

- ・1歳児がピアノ指をつめそうになった。  
→ストッパーを置くなりして対処する。
- ・後ろを向かずに玩具を投げて他のお友達にぶつかりそうになった。  
→すぐに保育者が止める

#### ○宝塚南口園

- ・1歳児男児が他の子を押して、他の子どもがこけそうになっていた。  
0歳児を押しそうになることもあるので注意する。
- ・汽車バスの後部座席（簡易椅子を設置しているところ）の揺れが激しく、  
0歳児を膝にのせて座っていた保育者たちが悲鳴をあげていた。  
頭が天井部分に当たりそうなくらい浮き上がっていた。
- ・1歳児男児がお散歩ロープからすぐ手を離そうとする。交通量の多い所では要注意。
- ・炊飯器のスイッチが入っていなかった
- ・安全ピンが落ちていた
- ・体操で手を広げた時、園児のおでこに当たりそうになった。突然走って来たので、  
避けることが難しい。
- ・1歳児男児が空気清浄機を置くスペースの中に入って奥で座ろうとしていた。
- ・色水遊び、1歳児が口元に運び飲もうとするので要注意
- ・0歳児男児が0歳児女児に近づいていくと口を開けて噛もうとする。
- ・1歳児男児にオムツを履かせている時、振り返った。  
面白がって反りかえる時があるが、危なかった。
- ・遠足時、お茶を持って行き忘れた。
- ・制作で使ったシールをはがした後のゴミを1歳児が食べていた。  
制作後はゴミが落ちていないか必ず確認するようにする。
- ・1歳児が玩具を投げる。何度注意しても投げるので、目を離さず見守る。
- ・午睡用のござが古くなり、出るかすを0歳児や1歳児が口に入れそうになるところを見る  
注意して見守り、こまめに掃除する。
- ・1歳児がブロックを口に入れる。
- ・0歳児がつかまり立ちをし出し、転倒することが増えている。  
目を離さず見守り、目を離すときは離れることを全体に伝える。

#### ○西宮えびす園

- ・ひも通し遊びのひもを振り回す年長児。他児にあたりそうになる。  
→遊び方を子どもと再確認。なぜ危険なのか、伝える。
- ・ひも付き水筒が何本か絡まった状態で持ち上げる年長児。  
足に水筒が落ちそうになった。  
→水筒の置き方、紐をほどくことを伝える。

#### ○西明石第2駅前園

- ・1歳児男児が水遊び用プールの中で滑って転びそうになった。  
保育士が支えたので、転倒は免れた。  
→水の事故が起きないように、保育士、職員間で配置を再確認していく  
子どもにも滑らないように、ゆっくり歩くことを伝えていく

#### ○神戸校吉園

- ・ボールプールに入る時に滑る  
→ゆっくり入り、一人一人目を離さないように見守る。
- ・おもちゃの取り合いで、一人の男児が転びそうになった。  
保育士も近くで見えていたので防ぐことができた。  
今後も気を付けたい。

#### ○さんだ南が丘園

- ・爪が長い園児がお友達をひっかいてしまいそうになった。  
直前で止めたが、定期的に爪をチェックして保護者の方にも爪を切っていただくよう  
声掛けをしていく
- ・保育室内を走り回る子どもが多いので、その都度声を掛け  
怪我のないよう見守っていく。

#### ○ウッディタウン園

- ・0歳児が落ちていた粘土を口へ入れようとしていた
- ・2歳児がブロック遊びの際走り回り、座って遊んでいる園児にぶつかりそうになった

#### ○夙川園

- ・1歳児の女の子が椅子に座っていたが、バランスを崩し、椅子から落ちそうになった。  
→保育者が横から見守りつつ支えられるように態勢を整えておく
- ・1歳児の女の子が俳句室の中で走り回りお友達とぶつかりそうになった。  
→保育室の中では走らないことを日頃の保育の時から伝えておく。